別添１：補助事業の内容説明

**記入例**

１．申請者概要

|  |
| --- |
| (１)企業等名及び代表者の氏名 |
| デジタル技術株式会社  　　代表取締役　次世代 太郎 |
| (２)主たる業種 |
| 金属製品製造業 |
| (３)企業の主な事業内容 |
| 自動車部品の金属加工 |

２．事業の目的及び内容

　※下記（１）～（４）の内容について、県、あいち産業振興機構のＨＰやプレスリリースでの公表、セミナー等で発表していただくことがあります。

|  |
| --- |
| (１)取組事業のテーマ |
| ◯事業内容がわかる短く簡潔なテーマとし、50文字以内で記入してください。    様々なタイプの工作機械が混在する工場内の機械稼働率の可視化 |
| (２)現状の経営課題 |
| ◯自社の生産工程や事業活動において課題となっている部分とその原因・要因について、具体的に記述して下さい。    各生産設備の稼働実績を担当者の手書きの資料で管理しているため、正確な可動率などを把握できない。  また、紙での管理のためデータとして活用できておらず、一日の業務終了後に資料をまとめているため、停止していた理由等を検討することもなく、記録するだけになっている。  そのため、生産性向上につながる問題点への気づきを得づらい環境となっていることが課題である。 |
| (３)導入するデジタルツール等の概要 |
| ◯導入するデジタルツールやクラウドサービスの提供企業、ツール名、ツールの概要について記入してください。    【提供企業】○○社  【ツール名】生産ライン可視化ツール  【ツール概要】  製造ラインモニタリングサービスで、生産個数や機械の停止時間、サイクルタイム（１つの工程に要する時間）などの生産の基本項目をグラフ等で可視化し、工場の生産性向上を実現する。設備停止の際に、その場で停止要因を紐づけて記録することができる。  情報はクラウド上に蓄積され、場所に依存せず、パソコンやモバイル端末からリアルタイムに情報管理が可能。 |
| (４)デジタルツール等の導入により期待する効果、目標 |
| ◯デジタルツールの導入・活用により、「現状の経営課題」欄の内容がどのように改善され、その結果、どのような効果（製品やサービスの生産性や付加価値の向上、新たな事業展開等）が想定されるのかを具体的に記入してください。      　　各機械別の稼働状況を正確に取集することができるため、正確な稼働率を知ることができる。また、リアルタイムで情報を得ることができるため、停止原因と結び付けて記録可能で、改善活動に向けた情報を得ることができる。  そのうえで、稼働率を具体的に何パーセント向上させるかの目標設定を行う。データでの管理のため、改善活動に取り組んだ際の効果の比較をすぐに行うことができる。  このように機械設備ごとで生産性向上に向けた問題点を可視化することができ、改善活動に取り組むことで生産性や収益向上が期待できる。 |

３．事業計画

|  |
| --- |
| (１)事業スケジュール |
| ◯実施事業について具体的にどのようなスケジュールで実施し、事業終了がいつごろかがわかるよう  に記入してください。    ９月上旬　　　　　　　　　　ツール導入、センサー等設置  ９月中旬～10月中旬　　　データ収集し、適宜収集方法を修正  10月中旬～11月中旬　　データ分析、問題点の洗い出し  11月中旬～12月中旬　問題点改善、効果検討・まとめ |
| (２)事業実施体制（組織、スタッフ毎の職・氏名、業務分担等） |
| ◯現在ある実施体制または体制計画を記入し、どのような役割で実施するかがわかるように記入して  ください。箇条書きでの記入も可能です。      総括責任者  代表取締役　次世代　太郎  （ツール導入に係る全体を総括）  現場責任者（ツール導入した生産設備の状況把握）  工場長　経済　四郎  生産機械担当（ツール導入した生産設備の管理）  製造部　製造　五郎  デジタル担当（ツールの活用やデータ分析）  営業部　技術　六郎    データ活用支援　（株）○○  ツールの導入やデータの活用に関して支援を行う  システムの作成　（株）△△  ○○のプログラム作成を外注 |

４．事業の実施方法

|  |
| --- |
| 具体な実施方法 |
| ◯デジタルツールの設置予定設備や導入台数、そのツールを利用してどのような情報を入手するのか、データの活用方法について具体的に記入してください。また、別添２に記入する経費がどのように使われるかがわかるように記入してください。       1. ○○を作成する生産設備と△△を作成する生産設備に計○台のセンサーを設置し、クラウドツールを導入する 2. ○○に使用するためのプログラムを△△社に委託し作成 3. データの送信機を○台、受信機を○台設置し、配線工事を実施することで環境を整備する 4. データ確認用のタブレット○台を利用してリアルタイムで稼働状況を確認 5. 生産数、稼働状況、停止原因を収集し、データをもとに改善点を洗い出す 6. 課題解決に向け、業務プロセスの改善に取り組む   ①～⑥の中でコンサルティング企業から○回の現地指導を受け、○回のオンライン支援を受ける。 |

５．事業に要する経費

|  |
| --- |
| (１)事業資金の調達 |
| |  |  |  | | --- | --- | --- | |  | 2024年度（円） | 備　考 | | 自己資金 | 300,000 |  | | 借入金 | 300,000 | ◯◯銀行 | | 補助金 | 600,000 | デジタル技術導入補助金 | | その他 | 0 |  | | 合計 | 1,200,000 |  |   ○本件以外の国などの補助金等の申請状況についても記入（名称・概要・進捗状況）  　【名　称】○○補助金  【テーマ】○○の実証  ◯本申請と同一、又は類似の事業については、両方採択となった場合どちらの事業を活用するか記入してください。  【申請額】○○円  ※採否決定予定時期：○○年○月頃  上記事業採択の場合、○○補助金を辞退 |
| (２)経費の内訳 |
| 別添２：経費内訳明細書のとおり |

６．その他

|  |
| --- |
| (１) 「パートナーシップ構築宣言」について（該当する方にチェック） |
| 宣言をしている　　　　宣言をしていない |
| (２) 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が実施する「SECURITY ACTION」の「★★二つ星」宣言について（該当する方にチェック） |
| 宣言をしている　　　　宣言をしていない  ※独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が実施する「SECURITY ACTION」の宣言を行っている場合は、内容確認に際し、申請状況について事務局がIPAと情報共有することに同意してください。  　同意します（同意する場合は、チェックを入れてください。） |
| (３)その他記入事項（※記入事項があれば、250文字以内で記入してください。） |
| ◯自社のアピールポイント等があれば記入してください。 |